

「さっぽろベンチャー支援事業」支援対象者の決定について

～札幌の経済を支えるベンチャー企業の育成を目指して～

札幌市には、多くの大学や試験研究機関が集積し、これらの高い技術成果を活用したベンチャー企業の起業が盛んになってきています。また、札幌に魅力を感じ、札幌で起業を目指す方が多くおります。ただ、ベンチャー企業を目指す起業家には、総じて経営に長けた人材や資金不足など、起業後の課題は少なくないのが現状です。

そこで、札幌市と財団法人さっぽろ産業振興財団では、起業支援のノウハウを持つ民間専門機関と協力して、成長性の高いベンチャー企業を積極的に支援し、札幌の経済を支えるベンチャー企業の育成を目指す「さっぽろベンチャー支援事業」を、札幌元気基金の1つの柱として実施することとしました。

このたび、多数の意欲ある応募者の中から支援対象者が決定し、具体的な支援がこれからスタートします。

1 事業の概要

さっぽろ産業振興財団を事務局として、支援メンバー（起業家を直接支援する専門機関）と顧問（学識経験者）等で構成する「さっぽろ起業家総合支援協議会（フォルツァさっぽろ）」を立ち上げ、有望な起業家の支援を行います。事業の実施に当たっては、支援メンバーがマンツーマンで起業家の事業を軌道に乗せるために必要な経営などに関する支援を行っていきます。（フォルツァ：イタリア語で「がんばれ」の意）

対象分野

先端技術産業分野及び先進的サービス分野等

対象者

- ・対象分野において市内で創業を目指す個人又はグループ
- ・対象分野において市内に主たる事務所等を置く又は置く予定のベンチャー企業（設立3年以内）

支援内容例

- ・支援メンバーのネットワーク等を活用した販路拡大
- ・インキュベーション施設（起業を目指す方などに貸し出す施設）への入居
- ・技術等の事業化段階における、大学や民間研究機関等との共同研究の実施
- ・試作品等のテストマーケティングの実施
- ・特許出願関連調査
- ・経営指導、事業計画のブラッシュアップ（磨き上げ）

など起業・事業展開に必要な支援として認められるもの

2 支援対象者の選定経緯

公募期間

平成16年5月26日(水)～6月11日(金)

申込件数

21件(法人12社,個人9人)

審査方法

審査会(支援メンバー,顧問,技術専門委員などで構成)での書面審査,プレゼンテーションによる審査を経て,支援対象者9人(法人6社,個人3人)を選考。(別紙参照)

・第1次審査(書面) 6月14日(月)～6月18日(金)

・第2次審査(申込者によるプレゼンテーションと質疑) 6月28日(月)

3 今後のスケジュール

支援対象者は,今年度末まで,支援メンバーによるマンツーマンの支援を受け,自らの研究やアイデアの事業化に向けた取り組みをしていきます。

また,一定期間経過後に進ちよく状況や事業可能性を評価し,支援の継続を判断します。

問い合わせ先

札幌市経済局新産業担当課 (211-2379)

財団法人さっぽろ産業振興財団 (820-3033)

「さっぽろベンチャー支援事業」 支援対象者 選定結果

事業名	対象分野	申込者	会社名	設立日	所在地	事業概要
1 医療地域連携ネットワークシステム	情報通信	小野寺 薫	(株)ファーストプレス	H14.10.1	市内	中核病院と診療所の患者紹介に関する連携と情報の共有を支援及び地域住民へ連携医療機関情報を公開するシステムを構築する。
2 育種技術による新品種・新規作物と遊休農地を活用した高付加価値食料及び高機能性素材の開発	ライフサイエンス,食	岡本 大作	(有)植物育種研究所	H15.3.3	栗山町	タマネギ機能性成分に関する基礎研究,育種に基づいた用途別タマネギを開発する。
3 ヒトTh1/Th2バランスcDNAアレイキットの製品化とそのマーケティング調査	ライフサイエンス	富樫 裕二	(株)バイオイミュランス	H15.4.10	市内	Th1/Th2免疫バランスを測定するキットを作製し,新薬の開発や機能性食品の開発,疾患の新しい治療法の開発に役立てる。
4 摂食抑制ペプチド及び大腸がんリスク低減プロバイオティクス開発・販売	ライフサイエンス	浅野 行蔵	-	-	市内	大腸がんにかかるリスクを低減するプロバイオティクス食品を開発する。 満腹を感じるペプチドを利用した食べ過ぎを防ぐ食品を開発する。 プロバイオティクス 腸内環境を改善し,整腸作用や免疫調節作用などをもたらす,生きた微生物を含む食品。
5 新機構キャストの事業化	福祉	根本 英希	(株)Will-E	H15.7.11	市内	全方向に移動可能な新機構車輪(キャスター)の量産化を目指す。
6 北海道産亜麻種子を使った札幌発健康食品サプリメントの製造・販売プロジェクト	食,健康サービス	橋本 真一	(有)亜麻公社	H16.2.10	市内	道産の亜麻を原料に唯一の国産亜麻仁油を搾油して,札幌発健康サプリメントを製造・販売する。
7 健康増進・健康維持のための個人データ管理システムの構築と機能性を高めた食料・サプリメントの開発	食,健康サービス	牧野 浩樹	(有)アイユニティ	H15.8.26	市内	食品データベースを活用した栄養診断アプリケーションの開発及び食生活改善の教育プログラムの提供する。 大豆を使用した半製品,サプリメントの開発を行う。
8 法人向け情報通信サービス及びICカード発行事業	情報通信	水野谷 一三	-	-	東京都	自身の豊富な経験を生かし,非接触ICカードとインターネットを活用したアプリケーション開発等を市内企業と連携して実施し,市場開拓を狙う。
9 プロマネッジ	情報通信	福井 将裕	-	-	東京都	ソフトウェア開発などのプロジェクト(その他の業種にも応用可能)を円滑に行えるようにサポートするWebシステムを中核としたプロジェクトマネジメント総合支援企業を目指す。

支援対象者は,市内に主たる事務所等を置く予定。

事業申込件数 21件

支援決定件数 9件

【体系図】

